

広報ちゅうざん

1月号 平成25年1月7日発行



目次

2ページ

院長より新年あいさつ

3ページ

リハビリ部長より心縁のあいさつ

4ページ

入退院状況

編集…西野

新年の挨拶

ちゅうぜん病院 医院長：田中正一

あけましておめでとございます。皆様には、平成二十五年の新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。さて、昨年はリハビリテーション機能を大幅に充実させた回復期リハビリテーション病棟入院基本料1の施設基準を取得しました。この病棟はよりリハビリテーションスタッフの充実した体制で、より医学的処置の必要のある患者や重症な患者（具体的には胃瘻造設も含めた手術後早期で創傷・褥瘡処置が必要な場合や、吸引などの呼吸ケアが必要な場合など）を受け入れ、状態改善や在宅復帰を十分行っていると認められた病棟です。このような困難な患者さんに、より質の高いリハビリを提供できるよう医師、スタッフともに努力していかねばと考えております。また、昨年十一月にはちゅうぜん祭りが行われました。例年とは異なり病院の全職員が祭りに参加し、地域の皆様の医療の御相談などに対応し

て参りました。日頃接することが少ない方々とのふれあいは貴重な機会だったと思えました。今後もいろいろな面で地域の皆様のお役に立てるよう企画いたします。

昨年の台風で倒れた病院玄関前のガジュマルは職員の苦勞の甲斐あって何とか持ち直しております。私たちもその違しさを見習い、医療現場の困難に立ち向かいます。ちゅうぜん病院の理念はリハビリテーション専門病院として高齢者や、障害者の方達が、安心して生活ができるような、医療・介護をめざすことであり、病院の基本方針として患者さんのための病院、地域に開かれた病院づくりを目指しております。今後とも地域医療に参加し、地域に根ざしたリハビリテーション病院として一層取り組んでまいりたいと思っております。宜しくお願いいたします。平成二十五年が明るく希望に満ちあふれた年となりますことを念願いたしますとともに、皆様にとりまして幸多き年となりますことを心からお祈りし、新年のあいさつといたします。

リハビリテーション部紹介

リハビリテーション部 部長 与儀 哲弘

明けましておめでとうございます。私たちリハビリテーション部は理学療法士四十三名、作業療法士二十名、言語聴覚士八名からなる総勢八十一名の部署です。地域の方々に貢献できるように一般病棟・回復期病棟での入院リハビリ、通院にて行う外来リハビリ・通所リハビリ、当院スタッフが利用者の生活場所に向いて行う訪問リハビリの体制を整えております。つまり、回復期から維持期のリハビリに力を入れ、患者様が住み慣れた場所にて安心・安全に生活できるよう援助しております。また、臨床現場だけでなく、研究活動にも力をいれております。昨年は、リハビリテーション部にて十一演題の研究発表を県内外にて行っております。これらの活動もすべて、臨床現場での疑問を解決し、患者様への最適なリハビリテーションが提供できるよう取り組んでいるものです。本年度は、さらに充実したリハビリテーションの提供を図り、なお一層地域への貢献が果たせるようリハビリテーション部一丸となって臨床・教育・研究活動に励んでいきたいと思いま

す。本年度もよろしくお願い致します。

平成24年11月入退院状況

